岡田宮

──(宝永四年) 貝原益軒書──

第３号
昭和61年11月吉日
発行　岡田宮社務所
北九州市八幡区岡田町１番地
郵便番号８０６
電話６２１－１８９８

お神札をおまつりしましょう。

お正月が近づきました、今年も、お伊勢さまのお神札と、岡田宮（氏神さま）の、お神札をお受けして、新しい年をお迎えください。

お伊勢さんと親しまれる伊勢の神宮は、皇大神宮（内宮）豊受大神宮（外宮）の総称で、内宮には国民すべての祖神である天照皇大御神さまをおまつりし、外宮にはお米をはじめとして、私たちに欠くことのできない衣食住の守護神である豊受大御神さまをおまつりする全国の総氏神さまであります。

神宮大麻

岡田宮大麻

そして神宮大麻（お神札）と岡田宮大麻（お神札）は、氏子総代の方々の御奉仕によって配られたり、又岡田宮社務所で授与されています。日本の家庭には、昔から神さまをおまつりする神棚と祖先をおまつりする御霊舎や仏壇があり、毎朝夕、感謝のお祈りをささげて、なごやかな明るい毎日の生活を送って参りました。すべてのものが、あらたまる新年を迎えるにあたり、新らしくお受けした神宮大麻と氏神さまのお神札をおまつりして、大麻を通してご神徳を拝し、平和な国家の繁栄と郷土の発展さらに一家の健康と幸福をお祈りしてください。

伊勢の神宮と氏神さまが、日本人共通の心のよりどころであり、清く、正しく、明るい国民生活の根本であります。あなたのご一家の繁栄と幸福のために、神宮大麻と岡田宮大麻をおまつりし、朝夕、感謝の祈りをささげましょう。

郷土地名考③

出口　中通りへの出口の意であろうか。

岸ノ浦　字義通り「山手の入江」であろう。かつて海が湾入していたことを示している。

茶屋ノ原　岸の浦二丁目五番・幸神一丁目七番・岸浦一丁目一三番附近古道は尾倉より茶屋の原に至り、一里塚に向っていた。茶屋ノ原の地名は馬場山にもある。旅人の休憩所である茶屋に関係があるか否か不明。作出はない。

中畑　茶屋原と旧街道に挟まれた地区。中央台地にあり「中間の耕地」。

曲里　黒崎宿を出た長崎街道は乱橋にて大きく左折する。曲里は国道三号線より東曲里町の川の東側、長崎街道との間の細長い地帯をいう。街道が長崎街道・中筋往還共に左右に大きくマガル所にある故「曲里」というといわれる。地形は紡錘形をしている。

筒井　曲里の西、西鉄電車線路までの筒形の地帯。筒井の地名は多く、近くでは下上津役にもあるが、現況では地形を異にしている。或いは、筒のような長方形の地区に由来しているかもしれない。

熊西小学校四十年史より

黒崎の町名と小名

岡田宮と厄除（やくよけ）

厄年と称し、古からその年は慎しむべき年とされているのは次の通りです。

男女ともかぞえ年で一才、四才、七才、十才、十三才、十六才、十九才、二十二才、二十五才、二十八才、三十三才、三十四才、三十七才、四十才、四十二才、四十四才、四十九才、五十二才、五十五才、五十八才、六十一才が、厄年です。

この間特に男の二十五才、四十二才、六十一才と女の十九才、三十三才、三十七才は大厄（本厄）といわれ、それぞれ各前年を前厄（厄入）、後年を後厄（厄晴）といわれています。

これらの歳を災いの多い厄年とするのは、この年齢が肉体的にも精神的にも大きく変化する年頃で〝人生の折り目〟だからです。

厄年には古来災難が多く、障りのある行動や振る舞いは慎しむ年であるとされています。厄年の方は、障りある事柄をやめ、あるいは厄を転ずる手だてを講じます。それが「厄ばらい」です。

厄年にあたる人は、災いを福に転ずるために厄除のお祓いをうけましょう。北九州の古社である当岡田宮では毎日厄除の祈願祭を奉仕致しております。皆様方おそろいで御参拝下さいます様、御案内申し上げます。

昭和六十二年度の厄年

神社なぜなぜ問答

問、氏神様と産土様と鎮守様とはどこが違うのですか？

八幡西区幸神三　前田房子　三十三才

答、なかなかむつかしい質問ですね、いろいろな仮説がありますが、簡単に申し上げます。

　氏神様とはもともと祖先を同じくする一族が、その守護神として祖先を祭ったのが初めです。ですから氏寺とか、氏神とか言ったのですが時代の変遷と共に一族の祖先のみでなく婚姻とか、主従の関係とか、一族に関係なくお参りするようになったのが氏神様です、これに関連して自分が生れた土地の神様を指して、産土神と云いました。つまりその土地の氏神様を産土神としました。子供が生れたらその土地の産土様、即ち氏神様に初宮参拝をして氏子入の儀式を行ったのが現代に続き、今でも社前で大声で泣いた赤子が丈夫に育つとか、幼児の泣き合戦とか云っていろいろ行事が残っていますね、これ等はすべて産土神であり氏神様である神様へ将来、この子供が地域の発展に役立つ国民になりますように、と、祈願すると共に、神様への報告をするお宮参りになりました。氏子と云う言葉もこれから出たのだと思います。

　またその地方、地域を守護される神社を鎮守様と申し上げ、氏神、産土と同じ意味で信仰されています。ですから伊勢の人等には、お伊勢様が氏神様であり産土様でありますが尚、その上に皇室のご祖先であり、日本国民全体の総氏神様であり、また八百万神の中心でもあります。

　今でも、伊勢の人等は子供が生れたと云えばお供を持って参拝し、親が病気だと云えば祈願に参拝していますよ、天照大御神は、太陽のように限りない慈しみと恩恵とを兼ね備えられた自然界の生命の根元であらせられます。むつかしい理窟を並べたり、無理をし祝詞を申し上げなくとも、氏神様へ参拝したら静かに「天照大御神守り給え幸へ給え、岡田神社の大神等守り給え幸へ給え」と何度でもご祈願下さい、必ず幸福の道が開けます。

厄　年（男性）

二十四才	前厄	昭和三十九年生
二十五才	**大厄**	**三十八年生**
二十六才	後厄	三十七年生
四十一才	前厄	二十二年生
四十二才	**大厄**	**二十一年生**
四十三才	後厄	二十年生
六十才	前厄	三年生
六十一才	**大厄**	**二年生**
六十二才	後厄	大正十五年生

厄　年（女性）

十八才	前厄	昭和四十五年生
十九才	**大厄**	**四十四年生**
二十才	後厄	四十三年生
三十二才	前厄	三十一年生
三十三才	**大厄**	**三十年生**
三十四才	後厄	二十九年生
三十六才	前厄	二十七年生
三十七才	**大厄**	**二十六年生**
三十八才	後厄	二十五年生

算賀の祝い（男女共）

六十一才	**還暦**	昭和二年生
七十才	**古希**	大正七年生
七十七才	**喜寿**	明治四十四年生
八十才	**傘寿**	四十一年生
八十八才	**米寿**	三十三年生
九十才	**卒寿**	三十一年生
九十九才	**白寿**	二十二年生

※年齢はかぞえ年です。

年末年始の行事案内

●大祓式(おおはらいしき)　十二月三十一日

大祓とは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

形代に住所、氏名、年令を書き身体をなで息を二度吹掛け初穂料（お思召し）を共に袋に納めて十二月三十一日までに町内の神社総代か岡田宮社務所迄お届け下さい。

岡田宮大祓式

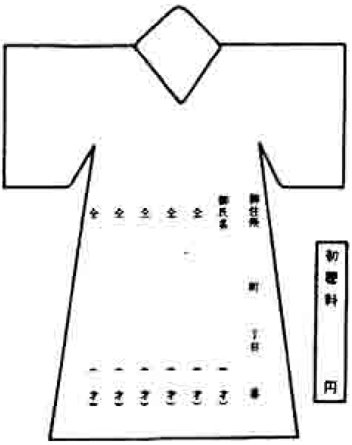
七月二十九日午後六時
十二月三十一日午後十一時

大祓は天の祓をあくまで昔より六月・十二月の晦日に執り行われた儀式で、お互いが知らず知らずに犯した罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み、一家の幸福を増進せんとする意義深い精神的行事であります。見いかえれば自己反省の日で、心機を一新して明日への力強い出発の日でもあります。即ち、年二回の大掃除に該当するもので人の心に積った塵を清掃するのが大祓であります。

当日の式にご参列出来ない方々のため身代りとしてこの形代に住所、氏名、年令を書き身体をなで息を二度吹掛け初穂料（お思召し）を共に袋に納めて十二月三十一日（七月二十九日）までに町内の神社総代か或は当宮まで御届け下さい。なお、ご不幸のあった家の方にはなおさらお清めのため大祓を行って下さい。

岡田宮社務所　六二一－〇八九八

形代表



形代裏

●歳旦祭(さいたんさい)　一月一日

新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにとお願いする神事、午前○時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。同時に地元青年会による神酒接待もあります。

●特別祈願祭　一月一日－七日

新しい年を迎え、家内安全、会社安全、商売繁昌、厄除開運等の特別祈願を受け付けております。皆様おそろいでお参り下さい。

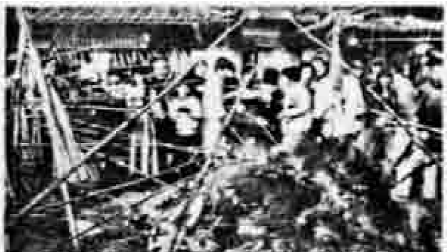
●成人奉告祭　一月十五日

新成人のお祓いをします。

●どんど焼祭　一月十五日

古くなった、〆縄、門松等を焼納する神事。

地元有志による餅つき、餅まき、神酒接待、ぜんざい黒崎祇園太鼓、福引等の諸行事が午前中に奉納されます。



（1月15日　どんど焼まつり）

●厄除大祭　二月節分日

厄年の方は是非ご参拝下さい。

編集後記

●好評の「神社なぜなぜ問答」皆様のたくさんのおたよりをお待ちしています。

●今年は「天皇陛下御在位六十年」という、大変おめでたい年でした。新年も皆様にお神様の御加護がございます様に。

・祝祭日には国旗を掲げましょう。

・一日、十五日には神社に参りましょう。